

中学生の視点からさまざまな質問が



下総、大栄中学校を加えた11校の代表44人が参加

中学生が市議会の役割や仕組みを学習し、市政に対する関心を深めてもらうことを目的に、合併後初めてとなる「中学生議会」が、10月4日、市議会議場で開催されました。

市議会に準じて、市の執行部が出席する中、議長に指名された大栄中学校の山田泰寛さんにより議事が進行。中学生議員たちは、ごみのリサイクルや通学路の整備など日ごろから身近に感じている生活環境の問題から、市町村合併や国際都市としての成田市として取り組む課題について、中学生の視点からさまざまな質問を行いました。

市議会議場という日ごろ体験できない場での質疑応答でしたが、議員たちは堂々とした姿勢で質問をし、また、市執行部からの答弁に真剣に耳を傾けていました。今回は、そのうちの主な質問とそれに対する答弁を紹介します。

駅前整備について



車が多いので、少し狭いのではないかと思います。もう少し駐車スペースを増やしてほしいです。初めにも言いましたが、通行者がだぶ楽になると思います。

外国の人も、成田山などに観光に来ているのか、数多く見掛けます。成田空港から電車を使って旅行をしたりする人もたくさんいるでしょう。そのときに、路上駐車が多いと、ほかはどんなに素晴らしい所であっても、そこだけを見れば訪れた人たちの成田市へのイメージは悪くなってしまいかもれません。

私は、塾に通っています。塾へは電車で行くのですが、京成成田駅の前やJＲ成田駅の前には、路上駐車をしている車がたくさんあります。私は背があまり高くないので、横断歩道の横に車が止めてあると、左右が見渡せないのが困ります。また、駅前には路上駐車が多く、車が混雑しがちです。

JＲ成田駅の西口には、車の駐車スペースがありますが、路上駐

路上駐車をやめるように書いてある看板などが設置されていますが、駐車は減った様子がないように思います。駐車している人も何か用事があるから止めていると思うので、駐車スペースを作れば路上駐車はなくなると思います。

ぜひ、JＲ・京成成田駅前に駐車スペースを作ってください。



答弁を熱心にメモする

各中学校からの質問一覧(質問順)

質問者	質問要旨
1 成田高等学校附属中学校	電光掲示板の設置について 書道・絵画展の実施をもっと多く
2 成田中学校	安全への配慮について 街の美観について
3 遠山中学校	保健福祉館の役割とは 道幅の拡充と歩道の確保について
4 久住中学校	駅前整備について 安全について 監視カメラの設置について
5 豊住中学校	コミュニティバスの運行について 不審者について 未成年者の飲酒・喫煙について
6 西中学校	リサイクルについて 成田市合併について これからの成田市について
7 中台中学校	国際都市成田と言われるが、実感がない 中台市民体育館の利用の拡大について 自然破壊について
8 吾妻中学校	パソコン機能について 環境破壊に対する対策
9 玉造中学校	成田市合併による変化について 成田市国際交流について
10 下総中学校	災害に強い都市づくりの取り組みを 高齢者施設の充実を 少子化対策について
11 大栄中学校	地域の行事について 交通の不便さの解消について

答 弁

ご指摘の箇所は、ＪＲ成田駅と京成成田駅の間挟まれた地域かと思われませんが、この一帯はＪＲ・京成成田駅中央口と呼ばれております。

ご質問の駐車スペースとは、一般車の乗降場のことかと思えます。

現在のＪＲ成田駅中央口駅前広場は、計画的に整備されたものではなく、鉄道用地の一部が広場として使用されている状態であり、

ご指摘の乗降場の問題を含め面積および配置が十分でないことは、市としても認識しているところであり、あります。

この問題につきましては、長年の課題としていろいろな検討を重ねてきたところであり、現在、駅

前広場の整備実施に向けての手続きを進めているところであります。今後、計画を推進するに当たり、ご要望を踏まえ、一般車の乗降場の確保について前向きに検討させていただきますと思います。

また、京成成田駅中央口広場につきましても、現在は暫定の形でありますことから、ＪＲ成田駅中央口駅前広場の整備に引き続き、同じ考え方のもとに整備について検討してまいりたいと考えております。

災害に強い都市づくりの取り組みを

日本では最近、地震や豪雨、台風など、自然災害が数多く発生しています。ことしもこれまでに沖縄や九州、中国・四国地方を中心

に、日本各地で梅雨末期の豪雨に見舞われ、甚大な災害が発生し、尊い人命も数多く奪われています。最近では、大雨による土石流の被害に遭い、住む所を失い、ぼうぜんとして立ち尽くす人々の姿がテレビで何度も放映され、自然の脅威を強く感じました。

さて、私の住んでいる下総地区では、昨年度、旧下総町役場よりハザードマップが全戸に配布されました。地形図上で見ると下総地区は低い土地が地区の半数を占めています。ハザードマップによると、地区内を流れる尾羽根川や利根川の堤防が、大雨や地震により決壊すると屋根まで水没してしまう住宅が数多く存在するということが分かりました。

私は社会の授業で、その事実を知り非常に不安になりました。そ

こで私は家族で、その地図をもとに避難経路を確認しました。新市になり、成田市ハザードマップは作成されるのか教えてください。

また、最近、日本各地で大きな地震が何回か発生しており非常に不安です。成田市もいつ大きな地震の被害に見舞われるか分かりません。先日、成田市内の避難場所一覧が全戸に配布されましたが、避難場所になっている小・中学校の建物は耐震設計になっているか



教えてください。

もし耐震化ができていないとすれば、今後どのような対策をしていくか教えてください。

さらに成田市として非常用の食料や飲料水の備蓄はどうなっているのかなどを含めて、今現在の、災害に強い都市づくりの具体的な取り組みを教えてください。

答 弁

まず、新市のハザードマップは作成されるのかについてのご質問からお答えいたします。本市は、地形的に利根川、根木名川、尾羽根川などの河川周辺の低地部があることから、常日ごろ、水害などに対する注意が必要な区域があります。旧成田市および旧下総町のハザードマップは、平成14年に作成し、配布いたしました。新市のハザードマップにつきましては、平成19年度中に作成し配布する予定です。

次に、避難場所になっている小・中学校の耐震化の現況についてのご質問にお答えいたします。

市内の小・中学校40校のうち、校舎については、すでにほぼ耐震構造となっております。体育館については半分が耐震構造となつて

います。残されたものにつきましては、順次耐震改修を行っていく予定であります。

次に、非常用の食料や飲料水の備蓄を含め、災害に強い都市づくりの具体的な取り組みについてのご質問にお答えいたします。

非常用の食料や飲料水の備蓄は、市内17カ所に備蓄倉庫を設置し、主食としてアルファ米、乾パンを合わせて5万5千食、副食として、さんま、焼き鳥の缶詰を合わせて約2万食の食料を備蓄しております。

なお、避難生活が長期化し、食料などが不足した場合には、災害時応急物資供給について協定を締結しておりますイオン株式会社、千葉コープなどからの物資の供給により対応してまいります。

また、飲料水につきましては、市内に設置しております16カ所の防災井戸などより浄水を確認し、市給水車をはじめ、各関係機関の協力を得て、給水活動を実施することとなっております。

そのほか、合併後の新市の地域防災計画の策定、公共施設の耐震化、災害時における情報伝達機能の強化など、災害に強いまちづくりを進めておりますが、市の行う防災対策には限界があり、家庭や

地域の防災力の向上を図ることも重要であると考えます。

そこで、市民の皆様には防災意識を高めていただくために、防災フェアや防災講演会などの啓発活動を実施し、また、災害時における活動の習熟を図るために各種防災訓練を実施しております。さらに、自主防災組織という、地域の住民が助け合い、ともに災害に立ち向かうための組織の設立や活動の支援などを行い、地域の防災力の向上を図っております。

これらいろいろな方向から災害に強い安全安心な都市づくりを進めてまいります。

不審者について



最近、成田市でも不審者が出没することが多く、私たちの学校では、登録している親には携帯電話

○出席した中学生議員(敬称略)

大川 諒介・谷口 大雅・遠藤 京鈴・田中 瑞穂(成田高等学校付属中学校)、小倉 里菜・石井 皓大・三枝 亮介・永山 彩夢(成田中学校)、増田 桃子、富川 真琴・田巻 凌・野老 寛幸(遠山中学校)、眞野 彩織・神崎 陽・宮城 若菜・葛生 美咲(久住中学校)、伊藤 友美・伊藤 佳恋・久米 涼子・日暮 脩哉(豊住中学校)、田島 大騎・早野 結衣・島田 将陽・川瀬 はるか(西中学校)、伊藤 めぐみ・井上 靖・吉田 達也・宮田 真花(中台中学校)、今関 菜・塚本 容子・上田 涼・武野谷 舞(吾妻中学校)、高橋 佳弥・上野 耕平・随行 廉・伊藤 春花(玉造中学校)、岩立 理・寺越 早紀・野平 菜津美・山田 泰寛(下総中学校)、伊藤 大貴・富澤 仁尋・飯嶋 大樹・山田 紗緒里(大栄中学校)

今回の中学生議会に議長として参加した二人に、 閉会后、インタビューしました



山田泰寛さん(下総中学校)

その場の状況に応じて、臨機応変に議事を進めていくことが難しかったです。

この議会に参加して行政についていろいろ知ることができ、以前よりも成田市のことに興味をもつようになりました。



山田紗緒里さん(大栄中学校)

視線を一点に集中させないで全体を見ながら議事の運営ができるように気を付けました。日ごろ、なかなか味わえない貴重な体験をすることができ、人前でも自分の意見がしっかり言うことができるようになりました。

にメールで不審者情報が入り、そのほかにも注意を呼び掛ける手紙が配られます。

入ってくる情報のほとんどが、不審者の目撃情報ですが、その後の不審者に対する対応や、不審者の逮捕に関する情報もメールや手紙で知らせた方が安心できると思います。

不審者については、より多くの情報を伝えた方がよいと思います。

ぜひ、不審者情報の内容改善について考えてみてください。

答 弁

教育委員会では、児童・生徒が犯罪被害者にならないよう、安全パトロールや安全管理の徹底、安全教育の充実・強化に一層努めるよう各学校へ指導・助言しているところです。

また、安全対策の一環として、本年4月より市内全小・中学校に学校情報配信システムを導入し、児童・生徒の安全に関する情報を地域・保護者で効果的に共有し取り組んでいるところです。

今年度、教育委員会で確認して

おります不審者情報は、9月20日現在で57件となっており、うち教育委員会から登録している保護者などへ一斉配信した件数は40件となっております。

この学校情報配信システムは、児童・生徒や保護者をはじめ、地域の皆様に注意を促すことを第一の目的としています。

教育委員会としては、今後成田警察署、防犯センターと連携を図り、情報を共有しながら児童・生徒の安全管理の徹底に取り組み、不審者情報および解決情報については迅速に対応してまいります。

さらに、関係者や委託業者と協議を進める中で、メール配信の内容の充実を目指し、システムの改善を図るとともに地域で協力をいただいている「子ども110番の家」および青色回転灯パトロール車で防犯活動を実施している「通学路防犯パトロール隊員」の方々にもメールの受信登録を要請していく予定です。

※くわしくは市民支援課(☎01-507)へ。